



皆様こんにちは！お元気でいらっしゃいますか～！私は相変わらず元気にやっております！

私ほんと風邪をひかないっ！これだけひかないところを考えると、これはもしや私、本物の馬鹿なのでは、と自分で自分を疑っております。

ただ、風邪はひかないのですが、実は私慢性的な**ぎっくり腰**を持っておりまして、つい数日前に**またぎっくり腰**になってしまい、相当ひどい状態になってしまいました…。

めちゃくちゃ痛くて真っすぐに立てないのです！動いても痛いし動かなくても痛い。わかる人にはわかると思いますが、**本当に腰を丸の字に曲げてるのが一番辛くない格好で、要するに昔よくいらしたご高齢のおじいちゃまの格好**というのでしょうか、そこまで曲げざるを得ない腰の状態なのです！

それでもってそんなタイミングで子供の運動会があり、親が競技に出ることはないのですが、先生や他の親御さんがいる中でも、人目はばかりに腰をぐいと丸の字に曲げて参加してきました！何人にも大丈夫ですか!?!と声をかけられる始末。ある意味一番目立っていたかもしれません。ということで、まだまだ腰が痛いですが、風邪をひかない分、腰にきちゃってる48歳O型さそり座でございます(笑)



🍎 そんなくだらない私の話は置いときまして、ようやく**秋の気配**を感じる今日この頃になりました。🍁

その秋と言えば…そう！全国の皆様がお待ちかねの**プロ野球ドラフト会議の季節**でございます！（お待ちかね？）昨年の10月号でこのドラフト会議の話題を取り上げました。あれからもう1年なんですね！早かったあ～この1年！やばいですよこのスピード感。年々あつという間感が強くなってきてます…。

そんなことはいいとして、**今年のプロ野球ドラフト会議は10月24日(木)に行われます。**この号がちょうどお手元に届いている頃でしょうか。前回取り上げた時は、ドラフト会議史の中で永遠に語られるであろう指名ドラマの数々をお届け致しました。

今回は、まだドラフト会議をそうわからない人向けに、多くの方が知っている有名プロ野球選手が、当時何位で指名されたのか、という話題をお届けしたいと思います。ざらっとお伝えすると、

- ☆**福本豊**…ドラフト**7位(阪急)** **1968年** 世界の盗塁王 通算1065盗塁
- ☆**落合博満**…ドラフト**3位(ロッテ)** **1978年** プロ野球史上唯一の3度の三冠王
- ☆**清原和博**…ドラフト**1位(西武)** **1985年** 甲子園のスター 通算525本塁打



☆**前田智徳**…
ドラフト**4位(広島)** **1989年**
落合が唯一「天才」と呼ぶ大打者



☆**新庄剛志**…
ドラフト**5位(阪神)** **1989年**
阪神のスター 現日本ハム監督



☆**イチロー**…
ドラフト**4位(オリックス)** **1991年**
言わずと知れた世界のイチロー



☆**高橋宏斗**…
ドラフト**1位(中日)** **2020年**
今年22歳にして最優秀防御率賞

☆**松坂大輔**…ドラフト**1位(西武)** **1998年**
春夏甲子園連覇 日本のエース

☆**大谷翔平**…ドラフト**1位(日本ハム)** **2012年**
MLBの歴史を塗り替えるスーパースター

ざっとピックアップしますとこんな感じです。
やはり**1位指名の選手は活躍している方が多い**ですね。

ただ、お分りの通り凄い選手は1位だけではないのです！あのイチロー選手は下位指名だったのです。どの球団もいくらでもその前に指名できたチャンスはあったのです。これがドラフト会議の魅力なのです。TVの地上波放送では1位指名までで終わってしまいますが、原石はどの順位にいるのかわからないのです！そしてそこに各球団のスカウトの眼力が発揮されるのです。

つまりドラフトは1位から最後の指名まで目が離せない！ということなのです。興味は深まりましたでしょうか！

さあ！今年のドラフト会議も大、大、大注目だぁ！(私だけかなこんな熱いの…(-_-))

2024年10月

今月のテーマ

- I ノーベル平和賞 日本被団協に決定！
- II 戦禍の写真を見た子どものことば
- III ～秀人のつぶやき～

想いをのせて **感謝** ありがとう

猛暑の日々からやっと過ごしやすい日常が戻ってきた。パリパラリンピックは2024年8月28日～9月8日まで行われ、日本は175名の選手団とスタッフ155名、総勢330名で参加した。



オフィシャルユニフォームの左胸には日の丸を付け笑顔の開会式、そして閉会式へと、沢山のメダルを獲得し、応援する者へ大きな感動と勇気を与えてくれた。



ここまで来る道のりはほんなに努力を重ねたのだろうと何時も思う。そして、人並み外れた精神力で数え切れない程の壁を乗り越えた選手達に大きな拍手を送りたい！



プロポーズ あの日にかえて ことわりた



今 アメリカのワールドシリーズが 関心を集めている

ワールドシリーズはプロ野球世界最高峰のメジャーリーグベースボール(MLB)における優勝決定戦。毎年レギュラーシーズン終了後の10月にナショナルリーグとアメリカンリーグのそれぞれの優勝チーム同志が戦いその年の王座を争う。このワールドシリーズ制覇が実質的な世界一といえることができる。

お待たせいたしました！



ワールドシリーズ3戦目にしてやっとスリーランホームランでチームの勝利に貢献した**大谷翔平**！ドジャースが8対0でメッツを下しワールドシリーズ進出へあと2勝とした。(2024/10/18)

因みに、このワールドシリーズの最多優勝チームは、松井秀喜のいたニューヨーク・ヤンキースで、出場数40回優勝数27回である。全米トップチームだ。**(因みにメットライフ生命はヤンキースのスポンサーです)**

『やったぜ 悲願の世界一!』

2009年11月4日ヤンキーススタジアムでヤンキース(ア・リーグ)がファイブス(ナ・リーグ)を7-3で破り、4勝2敗で9年ぶり27度目の優勝を遂げた。

松井秀喜は入団7年目で初めて世界の頂点に立ち、同時にこのシリーズのMVP(最優秀選手)に輝いた。

シリーズ記録に並ぶ6打点の大活躍。シリーズ通算打率は6割1分5厘。

日本人のMVPは初めてだった。

「もう最高。何か夢みたい。この日のために1年間頑張ってきたからね。」松井は興奮さめやらぬ様子で心の底から喜んでた。



ワールドシリーズで最優秀選手(MVP)に選ばれ、トロフィーを掲げるヤンキースの松井秀喜。
=アメリカ・ニューヨーク(2009/11/04) [EPA=時事]



株式会社 **ASADA** オフィス

代表取締役 **麻田 春江**

住所：〒302-0015 茨城県取手市井野台1-7-28 E-mail: officeasada220@gmail.com
TEL: 0297-72-2401 FAX: 0297-72-6217 URL: https://officeasada.com



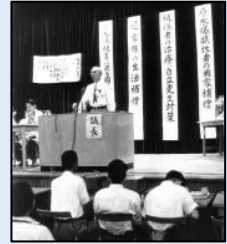
I ノーベル平和賞 日本被団協に決定！



2024年10月11日夜、受賞が決定した
『ノーモア ヒバクシャ』

日本被団協＝日本原水爆被害者団体協議会は、核兵器廃絶を願う被爆者の声を唯一の戦争被爆国・日本から68年にわたって世界に発信してきた。

広島と長崎に原爆が投下されてから9年後の1954年、日本のマグロ漁船「第五福竜丸」の乗組員が、太平洋のビキニ環礁で行われたアメリカの水爆実験で被ばくした。



これをきっかけに、日本では原水爆禁止運動が高まり、2年後の1956年、被爆者の全国組織として日本被団協が結成された。

結成の宣言で、「人類は私たちの犠牲と苦難をまた再び繰り返してはならない」と核兵器廃絶を訴え続けた。

1956年8月10日 日本被団協結成
(長崎国際文化会館)



「ノーモアヒバクシャ」
第1回国連軍縮特別総会開催中の米ニューヨークでデモ行進をする日本被団協派遣の代表团
(1978年5月27日)



厚生省前にテントを張り全国の被爆者が5日間すわりこんだ
(1973年11月)



1982年の国連軍縮特別総会で長崎で被爆した自身の写真を手に核廃絶を訴える山口仙二さん

日本被団協は、原爆被害の実相を伝えるため積極的に海外に代表を派遣し、1982年には代表委員の山口仙二さんが、国連の軍縮特別総会で被爆者として初めて演壇に立った。

14歳の時に長崎で被爆した山口さんは、やけどを負ったみずからの写真を示しながら、「ノーモア ヒロシマ ノーモア ナガサキ ノーモア ヒバクシャ」と訴え核兵器の廃絶を迫った。

その後も、日本被団協は、国連や世界各地で原爆の写真展を開くなど地道な活動を続け、「ヒバクシャ」は世界に通じる言葉となった。

原爆投下から60年となる2005年にはノーベル平和賞の有力候補として挙げられ、受賞は逃したものの、ノーベル委員会の委員長が、「長年、核廃絶に取り組んできた」と敬意を表した。



2016年、原爆を投下したアメリカのオバマ前大統領が現職の大統領として初めて被爆地・広島を訪問した際は、代表委員の坪井直さんが「原爆投下は人類にとって不幸な出来事だった」と直接伝えた。

日本被団協は、核兵器廃絶に向けた国際的な取り組みにも関わり、2017年に採択された核兵器禁止条約の交渉会議では、およそ300万人分の署名を集めて目録を提出し、条約の採択を後押しした。条約の前文には、「被爆者が受けた容認し難い苦しみに留意する」、「被爆者が行っている努力を認識する」として、被爆者に寄り添うことばが盛り込まれた。そして、核兵器の廃絶やすべての国が核兵器禁止条約に参加することを求める「ヒバクシャ国際署名」を続け、最終的に1370万人の署名を国連に提出した。



ニューヨーク国連本部
核兵器禁止条約交渉会議の
オープニングで演説する
日本被団協の藤森俊希さん
(2017年3月27日)

今回の受賞は、長年に渡り地道な活動を続けて来た事が高く評価されたもの。真実を訴えるときにケロイドや傷を見せたことも、その事で誹謗中傷を受けた事も。それらを乗り越え、広島・長崎の「核廃絶の道は決して諦めてはならない」と確信した。



ノーベル平和賞に日本被団協が選ばれたことについて アメリカのバイデン大統領が声明を発表

ことしのノーベル平和賞に日本被団協が選ばれたことを受けて、アメリカのホワイトハウスは13日、バイデン大統領の声明を発表した。

声明では「日本被団協のメンバーは、核兵器がもたらす壊滅的な被害を、人類が耳を傾けるべき話として伝える役割を何十年にもわたって果たしてきた。核兵器が二度と使用されないようにするための歴史的な活動が評価され、ノーベル平和賞に選ばれたことをアメリカを代表して心からお祝いする」と祝意を示している。

そのうえで去年5月の広島訪問にふれ、「被爆者の方とお会いした際に強く感じたように私たちは世界から核兵器を最終的、かつ永久に廃絶する日を目指し、前進を続けなければならない」と訴えている。

バイデン大統領は去年、広島を訪問した際にも原爆資料館の芳名録に同様の内容を記帳していて、核廃絶に向けたみずからの思いを改めて表明した形だ。

バイデン大統領は、今回の声明で「アメリカは核の脅威を減らしていくために前提条件なしにロシア、中国、北朝鮮と協議を行う用意がある」としているが、世界では核兵器の脅威が高まっていてその道筋は険しいままとっている。

II 戦禍の写真を見た 子どものことば



世界の中で大きな災害で命や家族や家を奪われた人がいる。戦禍の中で、深い悲しみや苦しみに嘆く人々もいる。20世紀は「戦争の世紀」だった。しかし、21世紀を迎えてもなお世界のどこかでひとときも収まることなく、絶えることがない。現実の世界は、ウクライナやガザなどの戦争が始まり、終わりが見えない戦争が続いている。

先日、写真家・大石芳野さんの「戦禍の記憶」と題する写真集を手にした。

数日後、日経新聞の「あすへの話題」に載っていた写真家大石芳野さんの記事に目を奪われた。それは…大勢の子どもたちや女性たちが泣きながら逃げ惑う姿や、見るも無残な姿と化した壊れた街を日々ニュースでみる実情。何時も犠牲になるのは幼い子どもと女性だ。特に争いに巻き込まれた子どもたちの写真などは心が張り裂ける思いがする。
記、麻田春江



写真家の大石さんは、ある日東京都杉並区の某教育関係者から、写真集「戦禍の記憶」をスライド上映で子どもたちに見せて欲しいとの依頼を受けた。

後日130人ほどの子どもたちと向き合った。写真は戦闘場面ではなく、戦禍に生きる子どもたちの表情が中心のスライド。さらに、写真はカラーが当たり前の現代にあえてモノクロ写真にして、写っている人たちの気持ちを汲み取ってほしいと、子どもたちに話をした。上映を終えた。子どもたちの反応は直球そのもだった。



「戦争で大勢が死んで、どんなメリットがあるの？」
「戦争が悪いって分からないのはおかしいよ」
「大人って恥ずかしいことをしているね」
「いつもの通りの生活が送れることは大切なんだと思った」

さあ！ここからです！子どもたちって何歳だと思いませんか？

自分や家族を重ねながら戦争の酷さを痛感したのだろう。その率直な反応に教育者も若いスタッフも驚いた。

大人になると幼かったころの自分の心を忘れてしまうのだろうか。

子どもは、れっきとした「一人前の大人」あるいはそれ以上の澄んだ感性を持っている、と改めて考えさせられたのです。

この言葉は感じたままを素直に表した幼稚園児たちのことばです！